

被爆 80 年原水禁世界大会(ヒロシマ)に参加しました

福島県連合幹事長 遠藤 芳孝

8 月 4 日から 6 日まで被爆 80 年原水禁世界大会・広島大会に参加してきました

8 月 4 日、郡山市から広島市へ朝早く、新幹線に乗車、広島市まで 5 時間 40 分の工程で広島市に 13:00 到着、13:30 分福島県内各団体から 13 名が参加、角田平和フォーラム共同代表を団長に結団式を行い原爆ドームに近くにある平和公園から、



折鶴平和行進に参加、世界から核兵器を無くそう、政府は核兵器禁止条約を批准せよ、ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ、ノーモアフクシマ、ノーモアワーを市民に訴え 2200 名の参加者で平和をアピール、1 時間 40 分の行進は猛暑の中汗まみれのデモでありました。8 月 4 日 原爆ドーム前で



17 時から、全体集会で金子 哲実行委員長から被爆 80 年長い年月が過ぎたが未だに政府は核兵器禁止条約へのオブザーバー参加もしていない。被爆者に於かれては高齢化が進み、体験を語り継ぐ人が少なくなっている、核と人類は共存できないことを訴えていく。総会ではノーベル平和賞を受賞した日本被団協の代表、米国の若者から実相を知り核廃絶運動を推進することの訴えがありました。

8 月 5 日 子供被爆者追悼式典

福島県から参加の子供による千羽鶴をささげ、献花で追悼式が行われました。

第3分科会 脱原発の実現に向けて RCC文化センター

①、原子力資料情報室長 松久保 肇氏から講演

2025年に閣議決定により第7次エネルギー基本計画で政府は脱原発から大きく舵をきり、原発を積極活用へ方針を変更した。これは大きな誤りです、2011年3月11日東京電力福島第一原発事故から14年、事故処理は表面上は進展しているように見えるが、デブリの取り出し、溜り続ける汚染水処理後の汚泥の蓄積、使用済み燃料の処理、など多くの課題を抱えています。東電の終わりの見えない福島原発廃炉計画は、原発事故で出たデブリは800トンもあり試験的に採りだしたデブリは0.07グラムこれでは廃炉計画は2050年に完了とのことですが出来ないでしょう。更に汚染水処理後のスラリーの処理など膨大な廃棄物の行方も定まっていません。核燃料サイクルは日本では破綻していますが、政府がこれにこだわるのは将来の核兵器使用との関連がはあるのかもしれませんが。原発回帰は巨額のコストがかかること、事故が起きれば「福島原発事故の責任、賠償などの巨額の資金がかかることが明らか。

② 高島美登里さん 中間貯蔵施設設計計画の白紙撤回

核の財源でなく、自然を活かした町づくりを

上関の中間貯蔵施設は関西電力と中国電力の共同開発です、40年間に電源三法交付金で76億円を超える交付金を町は期待。立地調査から50年間の操業期間終了まで360億円になるとの報告2023年3月町議会に提示していた

上関の町では自然を破壊するとして反対署名を開始 中電に24年2/8 27万5043筆 関電に26万3230筆の反対署名を提出した。

中間貯蔵施設の問題点についてチラシ、意見広告、折り込みチラシポスティング。講師をよんでの講演会。抗議集会、町内全戸チラシ配布、中電、関電、行政への申し入れを展開してきた。

核廃棄物の貯蔵より、上関町の自然破壊、生態系や生活への影響を科学的に評価すべきとの運動を展開し25万2478筆を集約した。

上関の海は奇跡の海、多様性豊かな環境で希少生物が多数生息、核に頼らず自然を活かした町づくりを訴えている。

8月6日 平和式典に参加、原爆ドームから式典に参加しようとした私たちの前には機動隊の列、その後ろには右翼、「死者を束ねるな」の声、到底そこからは入ることは出来ず迂回して会場へ、入口では持ち物検査と問題が無ければ左腕にテープを巻かれ無事入場、式典会場は混雑しており、式典は備え付けられたスピーカーで挨拶を聞いた、松井市長の平和宣言、子供代表の平和への誓いが聞こえた会場からは大きな拍手が聞かれました。内閣総理大臣石破 茂の言葉は非核3原則を持ち出すも核廃絶には触れなかった、会場からの拍手はマバラ、石破は丁寧に嘘をつく男だと、つくづく思った。人生初めて広島祭典に参加した自分として年齢を重ねると暑さ、デモなど体力を維持しないといけないなと思いました。

」